



ウェルビーイングのためのスクール・コミュニティの創造

副学園長 蔵野 貴通

暑さが厳しい中、児童・生徒たちは熱中症対策をとりながら、1学期の締めくくりを頑張っています。地域・保護者の皆様におかれましては、日頃よりおおさわ学園の教育活動に御理解・御協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

今年度は、羽沢小学校の亀山桂子校長が退職され、大沢台小学校の高橋奨校長が羽沢小学校に異動されました。そして、私、蔵野貴通が大沢台小学校長として着任いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。

令和4年度「おおさわ学園基本方針」の柱は、以下の通りです。

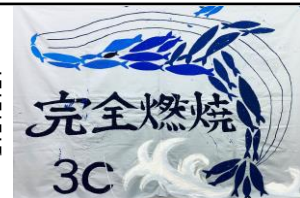
- 新しい生活様式の徹底
- 地域人財・施設を活用した授業・行事等の実践
- 小・小、小・中の交流活動や地域行事への参加・協力、ボランティア活動での交流
- 学習用タブレット端末を活用した個別最適な学びや協働的な学びの推進

特に学園研究では、「地域人財・施設の発掘と活用～地域の力を児童・生徒の学びへ～」をテーマとして取り組んでいます。第一回の学園研究は三校の教員が天文台の施設見学と講演会を行いました。また、5月7日にはおおさわ学園コミュニティ・スクール委員の皆様と教員の熟議も行い、CS委員や推進員を通して地域との密接な関係を構築しています。学園研究では、児童・生徒が地域社会とつながり、地域の方々との温かいふれあいや交流を通してウェルビーイング（自他ともの幸せ）が実現できることをねらいとしています。

学校・地域・保護者が協働してスクール・コミュニティ（学校を核とした地域社会の更なる充実）を創造していけるよう、地域・保護者の皆様には、今後も変わらぬ御支援・御協力をいただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

第七中

第39回体育祭



最優秀クラス旗

5月21日(土)・25日(水)と、雨天の影響により2日間にわたっての実施となった、第39回体育祭。3年ぶりに保護者を迎え、開催することができました。そんな体育祭のテーマは『完全燃焼』、『全力を出し切って事に当たること』と、体育委員長が示してくれました。

テーマ通り、生徒達は全力疾走を披露。しかし、競技中に大雨が…。雨に負けじと、続きを行いたい気持ちも叶わず、延期となりました。しかし2日目になると、1日目よりも、気合が入った表情に。延期しても心が折れず、むしろ気持ちを高めてきた生徒たちに、本当にあっぱれでした。すべての競技が終わり、閉会式のために整列する生徒たちの表情からは『やり切った』と言わんばかりの笑顔。今年も、学校全体がとても充実感に包まれた2日間となりました。



羽沢小

自然教室



6月20日(月)～22日(水)は羽沢小の6年生が、2泊3日の「自然教室」に行きました。出発前に1年生から思いのこもった可愛い「てるてる坊主」を受け取り、リュックサックに大事に付けて、たくさんの保護者や教職員に見送られて出発しました。

1日目は、「ほうとう作り」です。インストラクターさんの指導を受け、活動班で楽しく野菜を切ったり、ほうとうをこねたりしました。家庭科での調理実習ができない中、コロナ対策をして貴重な体験ができました。

宿舎に着いてレクを行いました。児童が企画から司会まで行い、学年が1つになって楽しく遊びました。

2日目は、午前中に「美し森ハイキング」を行いました。思いのほか暑く、急な斜面や足元の悪い中、活動班の二班ごとにハイキングをしましたが、歩くスピードをお互いに合わせられず、あちらこちらでもめ事が起きました。気持ちがそろわないまま、午後の「アドベンチャーツアー」がスタートしました。初めはどのグループも課題を成功させられず、「無理でしょ。」「できるわけない。」という声が上がっていました。しかし、次第に「もう一回チャレンジしよう!」「こうすればいいんじゃない?」「ドンマイ、大丈夫!」「次はいける!絶対クリアしよう!」と、励まし合いながら作戦を立てる場面が多く見られ、クリアして全員が一緒になって喜び姿があちらこちらで見られました。協力して成功する実感をどの児童も強く感じたプログラムでした。夜のキャンドルファイヤーでは、楽しいゲームやダンスを行いました。みんなで楽しもうと心が一つになった瞬間でした。

雨天予報の3日目は、なんと朝からきれいに晴れ渡り、「1年生からのてるてる坊主のおかげだ!」と大喜びの児童たち。宿舎の方々への感謝の気持ちを表そうと部屋を掃除し、各部屋で書いたお礼のカードを宿舎の方に渡して閉校式を終えました。滝沢牧場では、「ぼくじょう体験」をしました。乗馬や、バードコール作りを楽しみ、家族へのお土産を友達と楽しく選びました。「今まで食べた中で一番おいしい!」と大絶賛のソフトクリームに舌鼓を打ちました。

この3日間を通して、時間を意識して行動することや、仲間と協力する大切さを学びました。この自然教室を通して一人ひとりが大きく成長しました。今回学んだ「相手を思いやる心」や「集団行動時の心構え」、「感謝する心」などを今後は大きく伸ばせるよう、卒業までの学校生活を過ごしていきたいと思います。



大沢台小

田植え体験

5年生は総合的な学習の時間で稲作やお米について学習していきます。また、6月11日には、羽沢小学校と合同で、ほたるの里三鷹村にて田植え体験を行いました。土曜日の実施でしたが、多くの児童たちが参加しました。



まず、村民の方々に苗の持ち方や苗を植える間隔を教わりました。

各校に田んぼの一区画が割り当てられ、一生懸命田植えを手作業で行いました。実施前は「田んぼの中に入るのは嫌だな。」と口にする子もいましたが、実際に始まると田んぼに入る、ぬるっとした感覚を感じながら夢中になって田植えをする姿が見られました。

みんなで一列に並び、声をかけ合いながら植えることができました。

体験後に児童たちに感想を聞くと、「楽しかった。」「もっとやりたかった。」などの声が聞かれました。さらに、「お米作りの大変さが分かった。」「田んぼでたくさんの生き物を見つけた。」などの声も聞かれ、新たな発見や気づきがあったようです。

お米が育ち、私たちの食卓に並びまでには、こういった地道な努力が必要です。それを身をもって体験することができました。今回学習したことを生かしながら、学習を進めていきます。

